

情報検索演習

第8回

2008年11月19日

後期 水曜2限

江草由佳

国立教育政策研究所

yuka@nier.go.jp

前回のまとめ

- アーカイブサイト
- 第9回演習課題:アーカイブサイト
- Web情報資源の探し方とリンク集の作り方
 - 情報ガイドとリンク集
 - Dnavi,市川市立中央図書館情報源リンク集
 - 図書館リンク集
 - 図書館リンク集、アリアドネ
 - リンク集の作成
- 第10回演習課題:リンク集の作成
- 第3回レポート課題出題:リンク集の作成
 - 〆切:12/2(火) 19:00 (Web)、12/3(水)(紙)

本日のお品書き

- お知らせ
- 図書館情報の探し方
 1. OPAC*
 2. NDL-OPAC*
 3. NACSIS Webcat*
 4. Webcat Plus*
 5. Books.or.jp*
 6. 新書マップ
 7. BOOK TOWNじんぼう
 8. 青空文庫
 9. 近代デジタルライブラリー
 10. amazon.com
- 第11回演習課題
 - 図書館情報の検索結果画面イメージ
 - 総合問題

*「レファレンスサービス演習」でやっているなので簡単に

休講・補講のお知らせ

- 12/17(水)は休講です。
- 1/14(水)は補講の予定です。

図書情報の探し方

- 図書、本、書籍の検索
- 使い分け例：
 - 鶴見大学図書館に所蔵されているかどうか
 - あるタイトルの本があるかどうか
 - あるタイトルの本が現在購入できるかどうか
 - 書誌事項はわかっているが、所蔵館を調べたい
 - ある文章に関連のある本が知りたい
 - ある本が神保町の古書店にあるかどうか知りたい
 - ある本のレビューが知りたい
 - 本の全文データを直接読みたい
 - ある本の生まれた背景や与えた影響、関連する人物や事柄などを調べたい

第11回演習課題

- 授業中に行った使った**全てのデータベース**の演習結果の**画面のスクリーンショット**をWordに貼り付け、各画面に、どのデータベースかの説明をつける。最後に総合問題をして、提出する。
- ファイル名：**kadai11.doc**
- 以下の項目を**ヘッダ**につけること
 - 第11回演習課題：図書情報の探し方
 - 情報検索演習
 - 提出した日付
 - 学籍番号
 - 名前
- 本日中に講義・演習Webサイトから**電子提出**

OPAC

- OPAC: Online Public Access Catalog
- インターネット上で利用できる図書館の目録データベース
 - 例: 鶴見大学図書館のOPAC
<http://library.tsurumi-u.ac.jp/opac/expart-query?mode=2>
- 現在はWeb上でサービスされることが多い
- 図書館に所蔵される全ての本があるとは限らない
 - 例: 昔に出版されたもの、個人文庫などの特殊コレクション

NDL-OPAC

- <http://opac.ndl.go.jp/>
- 日本国内で刊行された出版物のデータベース
 - NDL: National Diet Library = 国立国会図書館
 - 国立国会図書館は日本の出版物をほぼ全て所蔵
 - 各図書館のOPACより更新が遅いこともある
 - 全国書誌検索ができる

NACSIS Webcat

- <http://webcat.nii.ac.jp/>
- 国公立大学図書館の総合目録のデータベース
 - 研究所の図書館なども含む
 - どのの大学に本が所蔵されているか？を知りたいときに使える
- ただし、全ての大学図書館の目録データがあるわけではない → 例：早稲田大学
 - 早稲田大学の図書館に所蔵されている本は
 - 早稲田大学のOPACでは検索できる
 - Webcatでは早稲田大学に所蔵されていることがわからない

Webcat Plus(1)

- <http://webcatplus.nii.ac.jp/>
- 以下の2つを含んだデータベース
 - Webcat(目録所在データベース)
 - 「BOOK」データベース
 - トーハン、日本出版販売、日外アソシエーツ、紀伊国屋書店が著作権をもつ1986年以降に発行された図書情報
 - 目次や帯、カバー等などに書かれている内容細目もあり

Webcat Plus(2)

- 連想検索

- 明確に探したい本がないときにテーマから探せる
- 特定の本を探したい、絞込みたいときには向いてない
- 連想でキーワードを広げられるのがうれしい
- 関連キーワードなどがわかるのがうれしい
- ある文章に関連のある本が探せる
- 「新書マップ」、「BOOK TOWNじんぼう」でも使用 → 演習はこちらでやる

Books.or.jp

- <http://www.books.or.jp/>
- 国内で入手可能な書籍が”今”手に入る本の最新情報として提供される
- 直接オンライン書店にリンクして、検索した本が手に入れられる
- 簡易検索
- 詳細検索(「もっと詳しく検索する」)
- →演習なし

新書マップ

- <http://shinshomap.info/>
- 新書だけを収録
- 連想検索
 - Webcat Plusと同様に、文章で検索できる
 - 関連ワードマップが表示される

新書マップ演習 連想検索を使う

1. asahi.comで適当な記事をコピー
2. 連想検索の入力フォームにペースト
3. 「検索」ボタンをクリック
4. 興味のあるワードをポインタでさしてみる
 - 例:p.93 5-16図 → 画面イメージをWordへ
5. 興味あるワードをクリックし、一覧リストをみる
6. 興味ある本をクリックし、詳細表示を見る
 - 例:p.94 5-18図 → 画面イメージをWordへ
7. 他の記事でもやってみよう(時間があれば)

BOOK TOWNじんぼう

連想検索を使う

- <http://jimbou.info/>
 - 東京の神保町の古書店の古書などが検索できる
 - 連想検索
- 演習
 1. “古書データベース”をクリック
 2. 「天皇」で検索
 3. 関連ワード:「歴代」、「即位」をチェック
 4. “再検索”
 5. 検索結果一覧を見る → 画面イメージをWordへ
 6. 興味のある文献の詳細をみる

青空文庫

- <http://www.aozora.gr.jp/>
- 著作権の切れた著作物をボランティアが入力して公開しているもの
- 作家名と作品名のよみ仮名の五十音順のリンク
- 作品の全文を読めるのが特徴
- 全文の検索も可能(ただし、外部のサーチエンジンのサイト限定検索を利用)
- 演習: 青空文庫で適当な作者の作品まで辿ってみよう
 - 実際に作品のページまでいく
 - 例: p.97 5-22図 →画面イメージをWordへ

近代デジタルライブラリー

- <http://kindai.ndl.go.jp/>
- 国立国会図書館が提供
- 明治期から第二次世界大戦以前の著作権がクリアになった本を公開
- 本文情報は画像のみで、テキスト形式ではない
- 演習：
 1. “詳しく検索”
 2. タイトル:「羅生門」(他のものでもよい)
 3. “検索”
 4. 検索結果一覧を見る
 5. どれか一件の詳細を見る
 6. “本文をみる”
 7. “→”などをクリックして先のページを見る
 8. 例:p.99 5-25図 →画面イメージをWordへ

Amazon.com

- アメリカ版 : <http://www.amazon.com/>
- 日本版 : <http://www.amazon.co.jp/>
- オンライン書店
- レビューがある
- お勧めの本
 - その本を買った人は他にこんな本も買っています
- 一部の本(ベストセラーなど)は本の一部を閲覧可能
 - 「なか見!検索」
- 演習: 適当な本を検索してレビューやお勧めをみてみよう
 - 本の詳細画面(この本を買った人は・・・が見えるように)
 - → 画面イメージをWordへ

総合問題(第11回演習課題)

- 「情報検索演習」p.100【検索問題-3】を実行しなさい。
 - 問題:内田儀久(うちだ よしひさ)の書いた『電子図書館』を所蔵している都内の大学図書館を知りたい。
 - どの検索サイトを使用したか
 - サイト名とURL(例:NDL-OPAC http://.....)
 - どのような検索戦略で、どうやって検索したか
 - まず、概要を知るために……
 - 検索している画面→Wordへ貼り付け
 - 検索結果の画面→Wordへ貼り付け
 - 回答
- 「情報検索演習」p.100【検索問題-1】,2,4,5を実行しなさい(オプション)
 - 【検索問題-1】と同様にまとめなさい

第11回演習課題

チェックリスト

1. OPAC*

– なし

2. NDL-OPAC*

– なし

3. NACSIS Webcat*

– なし

4. Webcat Plus*

– なし

5. Books.or.jp*

– なし

6. 新書マップ

① 関連キーワードの結果

② 詳細結果

7. BOOK TOWNじんぼう

③ 詳細結果

8. 青空文庫

④ 本文

9. 近代デジタルライブラリー

⑤ 本文

10. amazon.com

⑥ 詳細結果

11. 総合問題

– 使用検索サイト、検索戦略、回答

– 検索画面、→Wordへ

– 検索結果画面→Wordへ

*「レファレンスサービス演習」で
やっているのを簡単に